

# 平成30年度青森県原子力防災訓練

11月10日（土）、11日（日）に青森県・関係市町村の共催により、東北電力株式会社、東通原子力発電所1号機を対象に、原子力防災体制の確立、防災関係機関の緊急時対応能力向上を目的とし、約96機関、約1200名（住民参加者を含む）が参加し、原子力防災訓練が実施されました。

11月10日（土）は、避難等の実働訓練を行いました。村では、白糠、老部、小田野沢、猿ヶ森地区の8名の住民が参加し、陸上自衛隊のヘリによる空路避難訓練を実施し、尻屋、岩屋、尻労、裏部地区の32名の住民が参加して、海上自衛隊の艦船による大平岸壁からの海路避難訓練を実施しました。避難訓練では各手段における避難手順の確認を行いました。また、海路避難訓練と連携して初めて安定ヨウ素剤緊急配布を行いました。

11月11日（日）は、避難等の実働訓練を行いました。10日の訓練では、東通村消防センター（消防署併設）に関する機関の職員が参集し、オフサイトセンター運営訓練を実施、中央（東京）からの要員が到着する前の初動時における原子力災害時の防災対策の検討、情報共有について機上訓練を行いました。

11月10日（土）、11日（日）に青森県・関係市町村の共催により、東北電力株式会社、東通原子力発電所1号機を対象に、原子力防災体制の確立、防災関係機関の緊急時対応能力向上を目的とし、約96機関、約1200名（住民参加者を含む）が参加し、原子力防災訓練が実施されました。

練を実施し、職員、住民双方で配布手順の確認を行いました。その他に、防災無線、広報車電話・FAX等による村内医療福祉施設への情報伝達訓練、福

祉車両による避難行動要支援者搬送訓練を行いました。訓練にご参加いただいた住民の皆さんには原子力災害時の行動等を確認しながら、真剣に取り組んでいました。村は、原子力防災対策に万全を期すため、今後も定期的に訓練を実施していきます。ご協力ありがとうございました。

## 原子力災害時の行動手順

### 原子力災害が発生

※複合災害時は自然災害からの身の安全の確保を優先しましょう。

### 村などの広報をよく聞く

#### 避難指示が出た場合

##### 自家用車避難

自家用車避難できない方：一時集合場所からバス避難

道路使用不可時：船・ヘリ等で避難

#### 安定ヨウ素剤緊急配布

（事前に受け取っていない方など）

#### 避難街員或寺検査\*

\*避難する際の汚染検査等  
(発電所から30km付近で実施)

#### 青森市の避難先へ避難

※発電所からの距離や方角によって、避難等のタイミングが異なります。

※詳細は各世帯に配布しております「原子力防災ガイドブック2018」をご確認ください。

## 各訓練の様子



オフサイトセンター運営訓練



巡回広報 (消防団等)



空路避難訓練



海路避難訓練



安定ヨウ素剤緊急配布訓練



避難行動要支援者搬送訓練